

省エネ住宅の住まい方

省エネ住宅は、従来の住宅に比べ極めて優れた性能を持っています。

省エネ住宅は、その性能を活かし正しく扱えば、より快適、健康で、地球に優しい暮らしが実現できます。

しかし、誤った住まい方をすると、危険な状況を引き起こす場合も考えられます。

以下を参考にして、優れた性能を十分に活かした、快適な生活を実現しましょう。

1

開放型の暖房器具は多くの換気が必要です。換気により熱が逃げるので省エネ効果が低下します。

2

換気装置は常時運転してください。空気質の悪化や結露による住宅の性能低下の原因になります。

3

ガスレンジを使用するときは必ず換気扇(レンジフード)を使って強制換気を行ってください。
また、卓上コンロなどを使う場合も強制換気を行うか、窓を開けるなどし換気を行ってください。
酸欠や一酸化炭素中毒の恐れがあります。

4

室内に大勢の人が集まった時などは、換気量が不足しがちです。
強制換気を行うか、窓を開け自然換気を行ってください。

5

換気装置のこまめな清掃を行ってください。必要な換気能力が発揮できなくなります。

6

省エネ住宅は、窓から日射熱が入ると熱が室内にこもってしまいます。
夏涼しく暮らすためのポイントは日射遮蔽です。日射遮蔽は窓の内側よりも外側が効果的です。
簡単な工夫としては、すだれやよしずがあります。

7

樹木は、光や熱をうまく調整してくれます。
落葉樹は、夏には生い茂り日射を遮蔽し、冬には葉を落として日当たりを確保できます。
朝顔やヘチマなどのツル性の植物で、日陰をつくり日射を遮蔽する方法もあります。
また、庭の芝生などは、地面からの照り返しによる熱の侵入を軽減します。

8

日中の夏の気温が高くても夜間の気温はかなり下がる地域もあります。
このような地域では、夜間の冷気を積極的に取り入れ建物全体を冷やすことが重要です。
夜間寝るとき、窓を開け、家全体を通気換気することにより冷やすように心掛けます。